高窒素鶏糞を活用した水稲の減化学肥料栽培

新潟県農林水産部経営普及課 (北陸ブロック)

技術概要:基肥に高窒素鶏糞を、穂肥に硫安を使用して水稲を栽培する施肥体系により、慣行栽培の穂肥技

術をそのまま利用できるため、低コストで簡易に減化学肥料栽培に取り組める。

品目:水稲

技術分類:施肥管理

導入効果:低コストな50%減化学肥料栽培

収量・品質は化学肥料100%栽培と同等



様々な形状の高窒素鶏糞。割高でもペレット状 (右端) が散布しやすい。

●高窒素鶏糞の特徴

密閉攪拌発酵された発酵鶏 糞の全窒素は4%以上あり、 従来の発酵鶏糞の2倍であ る。窒素の無機化は速く、栽 培管理しやすい。メタン生成 量も少ない。

技術導入・普及時の問題点

- 堆肥を肥料代替とする経験がなく、生産者は生育への悪影響を心配し、高窒素鶏ふんの利用に消極的。
- 取扱い業者が少なく、手に入りにくい。高窒素の付加価値が理解されず、生産者、販売業者から価格が高いと思われている。
- 高窒素鶏ふんは、施用量が明確でない。また、 散布後速やかに湛水する必要がある、化学肥料 と比較し基肥量が約5倍となるため、ブロードキャ スター等の大容量の散布機の 導入等、栽培方法に変 更が必要である。

解決に向けた取組

● 指導農業士会と県が連携、 養鶏業者の協力を得て栽培 実証を実施。

● 指導農業士9 圃場、3 品種でで実証栽培し、普及指導センターが調査、研究所が助言、革新支援担当がパンフレットにとりまとめ指導農業士会員に配布、県のホームページに掲載。

指導農業士が地区研修会等で実証結果を紹介し、地域に波及中。

高窒素鶏ふんペレット基肥水稲栽培のすすめ ver.2 https://www.pref.niigata.lg.jp/site/nogyo-navi/produce.html